

保護者の皆様

令和5年10月6日

川崎市立高津小学校
校長 青木 あゆ子

令和5年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査 結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月13日（木）に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月18日（火）及び5月11日（木）に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（目指す子ども像）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、学校教育報告会等でもお伝えします。

学校教育目標（目指す子ども像）

た ・ 楽しく追究し、ともに学ぶ子

（学ぶことに楽しさを見出し、自他の学びを最後まで追究し、協働して課題を解決しようとする、生きる力を持つ子）

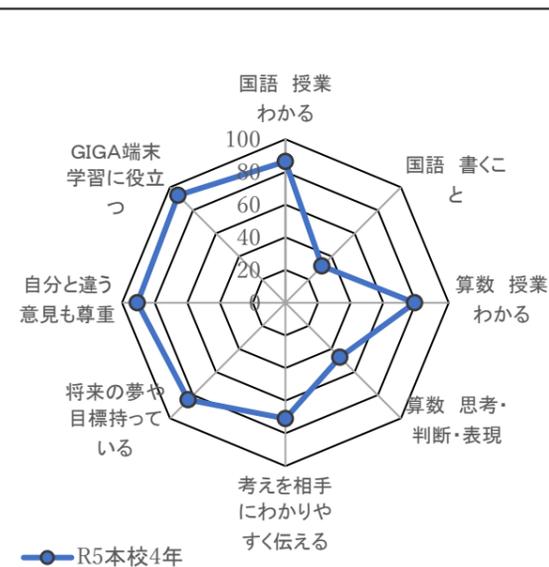
か ・ 活力あふれる明るく元気な子

（未来に希望をもち、健康で安全な生活習慣を身につけ、まわりを元気づける強い意志をもった子）

つ ・ つくすことに喜びを感じる心やさしい子

（勤労・奉仕、助け合いに喜びを感じて実行し、互いの個性を尊重しあう思いやりのある子）

令和5年度 川崎市学習状況調査 4年生



・「国語 書くこと」は、32ポイントで、全国平均より3ポイント下回っております。「話すこと・聞くこと」については、5ポイント上回っているため、正確に伝え受け取る言語的表現力をさらに充実させ、書く力をつけていくような取組を行ってまいります。次年度は、3ポイントアップを目指してまいります。

・「算数 思考・判断・表現」は、47ポイントで、全国平均より1ポイント上回っております。ただ「わかっていない」と回答した児童が2割以上いるので、さらに少人数での話し合いや教え合いをする協働的な学びの活動を通して、主体的に学ぶ授業を目指してまいります。

・「自分と違う意見も尊重している」は、全校平均より4ポイント上回っています。グループ活動等を通して学び合う姿勢を持つようとしていることが窺えます。学校教育目標「つくすことに喜びを感じるやさしい子」を踏まえ、日常の中でも互いの個性を尊重し合い、思いやりをもって接し認め合う態度を大切にしていきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 5年生



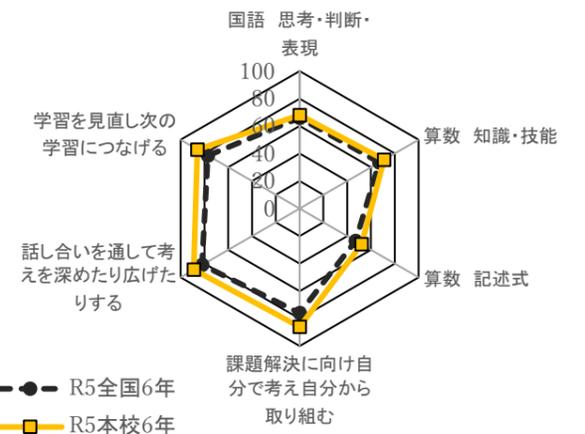
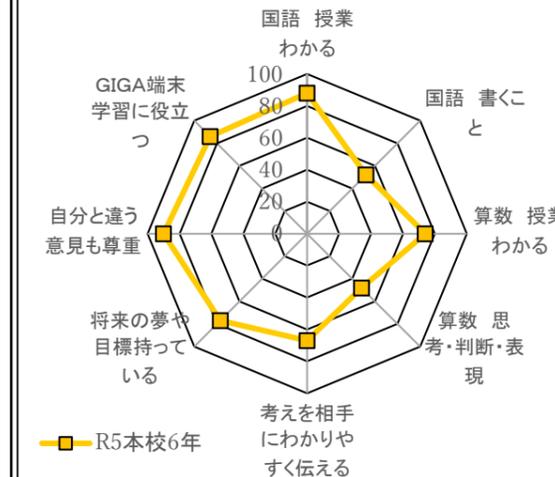
・「国語の授業がわかる」は、88ポイントで全国平均を1ポイント上回っています。また、「国語 書くこと」は62ポイントで2ポイント上回っています。これまでの取組を継続しながら、語彙力を高めて考えたことや伝えたいことを整理し、表現する力の向上を目指していきます。

・「算数 思考・判断・表現」は、34ポイントで全国平均より2ポイント上回っていますが、課題もあります。学んだことを生かして生活や学習に活用できるような学習活動を増やします。次年度は3ポイントアップを目指します。

・「自分の意見や考えをわかりやすく伝えることができる」は、全校平均より2ポイント上回っていますが、学習に苦手意識をもち伝えることができないと回答している児童も3割ほどいます。学校教育目標「楽しく追究し、ともに学ぶ子」を踏まえ、学びを最後まで追究し児童が学ぶことの大切さを見出せるような授業を充実させていきます。

令和5年度 川崎市学習状況調査 6年生

全国学力・学習状況調査 6年生



・「国語の授業がわかる」は、全国平均とほぼ同等の高い数値を示しています。「国語 書くこと」については3ポイント、全国調査「国語 思考・判断・表現」でも2ポイント全国平均より上回りました。しかし、約半数の児童が情報を整理して考えをまとめたり書き表し方を工夫したりすることに課題があります。書き始めや情報の整理、記述の仕方における指導改善を図り、書く力の向上を目指します。

・「算数 思考・判断・表現」は、市の調査では全国平均より3ポイント上回りました。昨年度の課題であった記述式の問題についても、考え方を図や文章で書き表すことを大切にした指導の結果、全国調査「算数 記述式」の数値が全国平均を5ポイント上回りました。「自分の思いや考えをもち、表現し、共に学び合える子」をテーマにした算数科の校内研究の機会を生かしながら、相手意識をもって考えを伝え、共有できる力を高める授業づくりに取り組みます。

・「自分と違う意見も尊重している」は、全国平均より5ポイント高い数値を示しました。全国調査「話し合いを通して考えを深めたり広げたりする」についても、全国平均を7ポイント上回りました。今後も、多様な意見を共有しつつ合意形成を図る協働的な学びを通して、学校教育目標と関わる「協働して課題を解決する力」の育成を目指します。